

# Russell/Nomura 日本株インデックス パフォーマンス・レビュー

## 2008年5月は、グロースが優勢

Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は前月比+2.26%であった。リビジョン・インデックスは先月よりさらに低下して-42.32となった。

- ▶ 【グロースが優勢】2008年5月のRussell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は、前月比+2.26%の上昇を示した。Russell/Nomura Total Value 指数とRussell/Nomura Total Growth 指数のリターン・スプレッド(円建て)は-2.48%となり、グロース優位の結果を示した。Russell/Nomura Small Cap 指数とRussell/Nomura Large Cap 指数のリターン・スプレッド(円建て)は+0.27%となり、サイズによるスタイル格差は見られなかった。
- ▶ 【リビジョン・インデックスは-42.32】個別銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスは先月よりさらに低下して-42.32となり、7カ月連続でマイナスとなった。
- ▶ 【パルプ・紙のパフォーマンスが良好】Russell/Nomura Prime 指数における業種別月次リターンではパルプ・紙が最上位であった。次いで、建設業、鉱業が高い月次リターンを示した。
- ▶ 【キヤノン(7751)の寄与度が高い】Russell/Nomura Prime 指数構成銘柄で見た寄与度ランキングでは、キヤノン(7751)が最上位、次いで日本電信電話(9432)、ソニー(6758)が上位であった。

### スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	市場 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	コア 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704	200705	200706	200707	200708	200709	200710	200711	200712	200801	200802	200803
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	割安 1.63	小型 1.91	コア -5.15	割安 -2.52	割安 -7.66	成長 -0.63	小型 -4.06
2	市場 -0.67	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア 1.50	市場 0.29	成長 -5.23	コア -3.28	小型 -8.67	市場 -1.08	市場 -7.58
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	成長 1.25	成長 0.18	市場 -5.44	市場 -3.49	コア -8.76	コア -1.33	成長 -7.85
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.70	コア -4.10	割安 -6.30	市場 1.22	割安 -0.06	割安 -5.44	成長 -4.03	市場 -9.12	市場 -1.49	割安 -8.47
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型 -0.48	コア -0.27	小型 -6.48	小型 -4.70	成長 -10.7	割安 -2.39	コア -9.12
順位	200804	200805										
1	コア 15.19	成長 5.22										
2	割安 13.93	小型 3.92										
3	市場 11.93	コア 3.83										
4	成長 11.56	市場 3.64										
5	小型 6.62	割安 2.08										

(注) リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

2008年6月4日

クオンツレポート

カテゴリー

インデックス・リサーチ

野村証券  
金融工学研究センター

片山 智代  
田村 浩道

03-3274-1079

[katayama-1q31@jp.nomura.com](mailto:katayama-1q31@jp.nomura.com)

野村証券株式会社 金融工学研究センター 〒100-8130 東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル

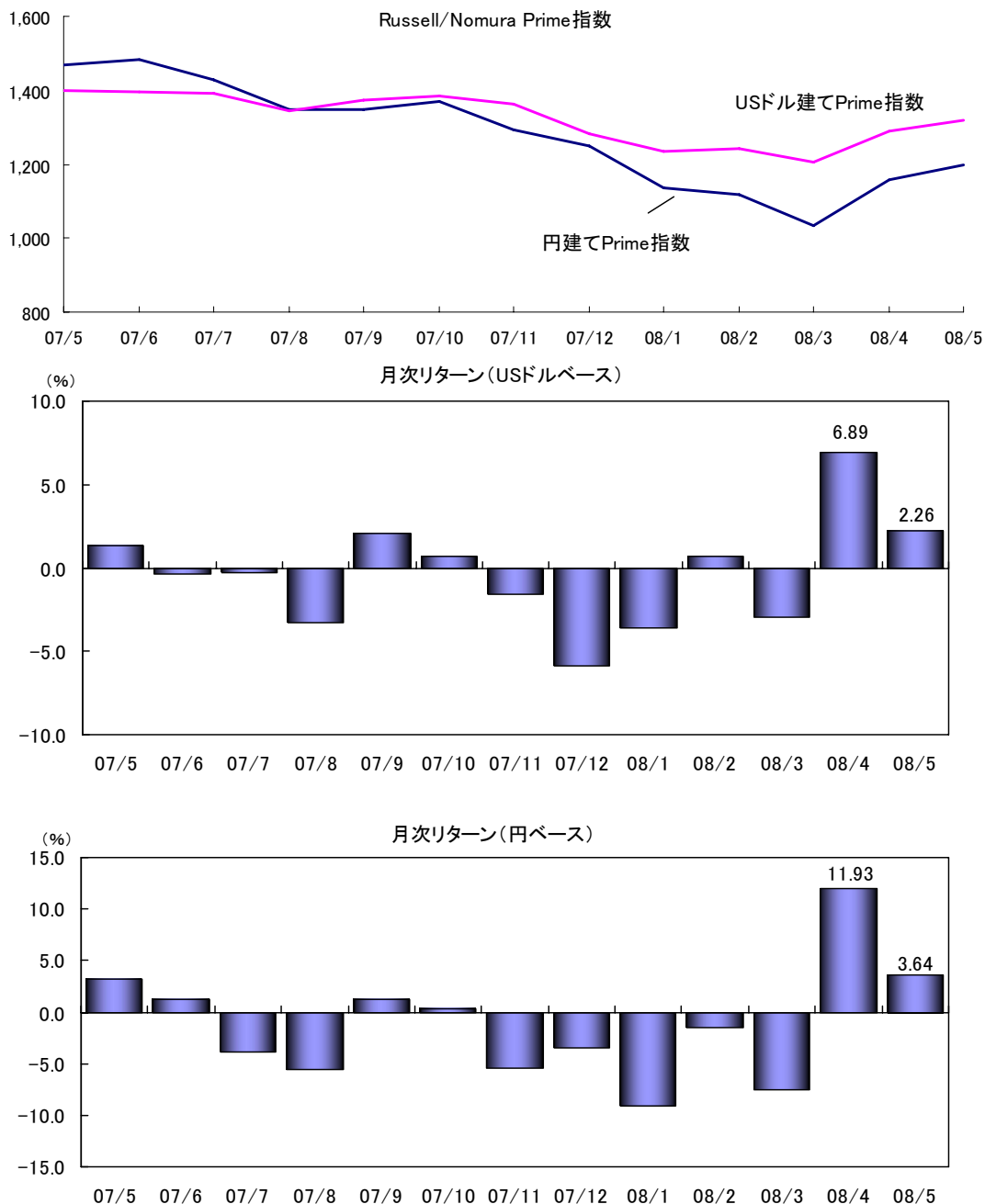
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

# 1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況

**08年5月のPrime指数(米ドル建て)は、+2.26%の上昇**

2008年5月における、日本株式市場の動きを示す Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は前月比+2.26%の上昇となった。円建てベースでは、前月比+3.64%の上昇であった。2008年5月末時点の為替レート(月末終値、出所：日本銀行)は2008年4月末時点の104.05円から、105.46円となった。

図表1 Russell/Nomura Prime 指数月次パフォーマンス



(注) リターンは配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

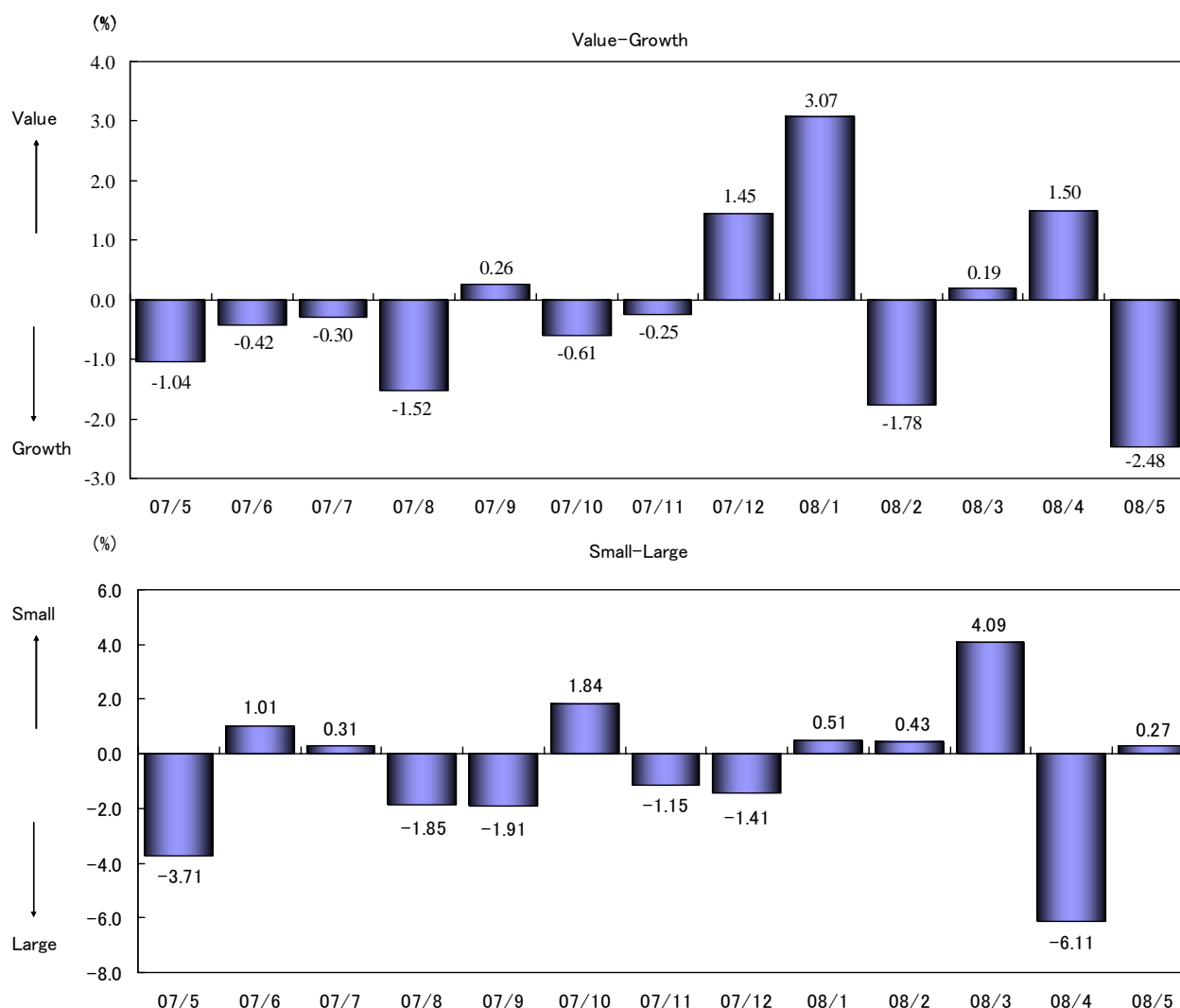
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## グロースが優勢

図表2は、スタイル別のリターン・スプレッド(円建て)の月次推移を示している。また、図表3は、市場、コア(時価総額上位50%以上)、割安(大型・バリュース株)、成長(大型・グロース株)、小型といった5つのスタイル区分による月次リターン(円建て)のランキングを表している。

2008年5月のスタイル別のパフォーマンスでは、成長(大型・グロース株)のパフォーマンスが良好であった(図表3)。小型株と大型株のリターン・スプレッドは、+0.27%となった(図表2)。バリュース株・グロース株の比較で見ると、グロース株が+5.00%であったのに対し、バリュース株は+2.52%に留まった。これよりバリュース株とグロース株のリターン・スプレッドは-2.48%となりグロース優位の結果となった。このグロース優位の水準は、2006年1月以降最大である。

図表2 リターン・スプレッドの月次推移



(注) Value-GrowthはValueとGrowthのリターンの差、Small-LargeはSmallとLargeのリターンの差である。

リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

図表3 スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603	
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51	
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82	
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73	
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33	
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18	
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703	
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00	
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41	
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60	
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94	
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23	
順位	200704	200705	200706	200707	200708	200709	200710	200711	200712	200801	200802	200803	
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	割安 1.63	小型 1.91	コア -5.15	割安 -2.52	割安 -7.66	成長 -0.63	小型 -4.06	
2	市場 -0.67	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア 1.50	市場 0.29	成長 -5.23	コア -3.28	小型 -8.67	小型 -1.08	市場 -7.58	
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	成長 1.25	成長 0.18	市場 -5.44	市場 -3.49	コア -8.76	コア -1.33	成長 -7.85	
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.72	コア -4.10	割安 -6.30	市場 1.22	割安 -0.06	割安 -5.44	成長 -4.03	市場 -9.12	市場 -1.49	割安 -8.47	
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型 -0.48	コア -0.27	小型 -6.48	小型 -4.70	成長 -10.7	割安 -2.39	コア -9.12	
順位	200804	200805	投資スタイルと対応指数										
1	コア 15.19	成長 5.22	市場	Russell/Nomura Prime									
2	割安 13.93	小型 3.92	コア	Russell/Nomura Top Cap									
3	市場 11.93	コア 3.83	割安	Russell/Nomura Large Cap Value									
4	成長 11.56	市場 3.64	成長	Russell/Nomura Large Cap Growth									
5	小型 6.62	割安 2.08	小型	Russell/Nomura Small Cap									

(注) 単位は%。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

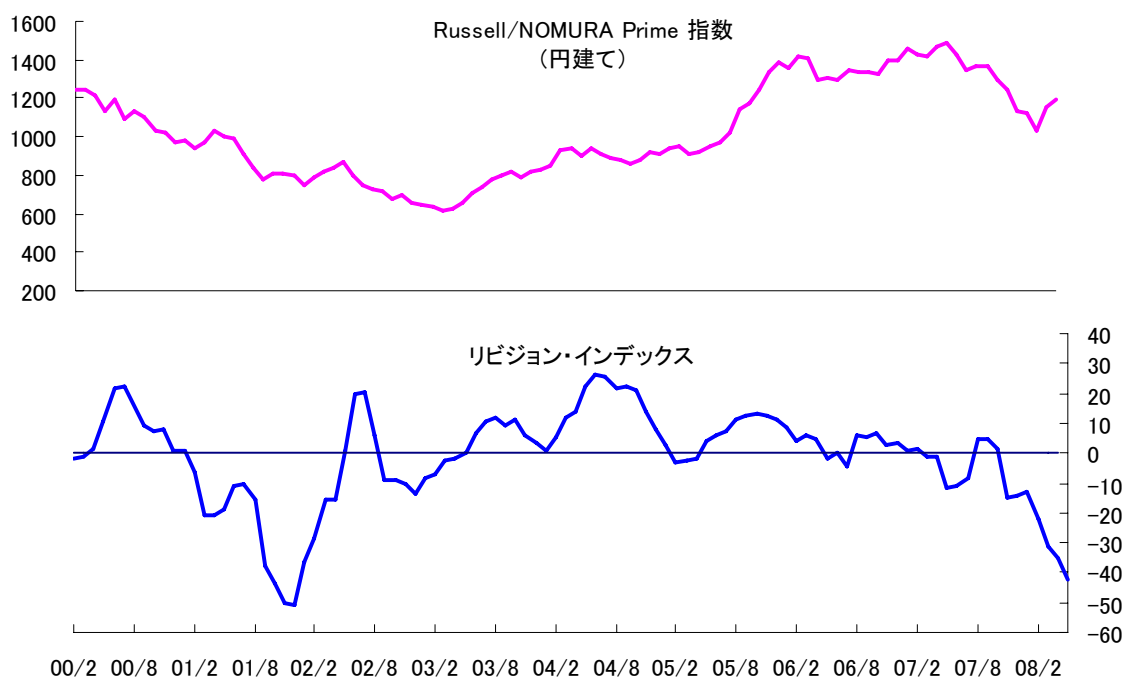
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

### リビジョン・インデックスは-42.32と、7ヶ月連続でマイナス

Russell/Nomura Total Market 指数を構成する銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスを見ると（図表4）、2008年5月は先月よりさらに低下し、-42.32となった。上方修正銘柄数が257銘柄、下方修正銘柄数は764銘柄となり、これで7ヶ月連続上方修正の銘柄数が下方修正銘柄数を下回る結果となった。

図表4 リビジョン・インデックスとパフォーマンス



	リビジョン インデク ス	上方修正 銘柄数	下方修正 銘柄数
2008年05月	-42.32	257	764
2008年04月	-35.10	271	754

（注）リビジョン・インデックスとは、（上方修正銘柄数－下方修正銘柄数）／有効銘柄数×100で算出される業績の修正動向を示す指数である。2008年5月の有効銘柄数は1,198銘柄。業績予想は野村及び東洋経済が予想する連結・経常利益を用いている。ここでは、母集団をRussell/Nomura Total Market 指数に含まれる全銘柄とし、月次の業績修正に基づいて算出している。

（出所）野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## 2. 業種別パフォーマンス・レビュー

パルプ・紙、建設業、  
鉱業のパフォーマンス  
が良好

2008年5月は、Prime 指数において、パルプ・紙のパフォーマンスが最も良く、前月比の月次リターンは+14.41%であった。次いで、建設業(+13.15%)、鉱業(+13.08%)の月次リターンが高かった。一方、パフォーマンスが悪化したのは、ゴム製品(-3.42%)と電気・ガス業(-2.16%)などであった(図表5)。

図表 5. Russell/Nomura 業種別パフォーマンス(上位・下位 10 業種)

指数	Prime	3.64	Large Value	2.08	Large Growth	5.22	Small	3.92
上位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 パルプ・紙	14.41	建設業	12.22	建設業	19.94	パルプ・紙	18.60
	2 建設業	13.15	パルプ・紙	12.09	鉱業	14.70	石油・石炭製品	16.03
	3 鉱業	13.08	情報・通信業	10.57	ガラス・土石製品	12.87	金属製品	12.52
	4 鉄鋼	9.06	鉄鋼	8.82	鉄鋼	9.76	建設業	10.74
	5 石油・石炭製品	8.77	石油・石炭製品	8.61	海運業	9.24	鉱業	10.50
	6 卸売業	8.67	卸売業	8.27	卸売業	9.19	その他製品	9.89
	7 海運業	8.13	機械	7.78	石油・石炭製品	8.53	証券・商品先物取引業	9.62
	8 ガラス・土石製品	8.05	海運業	6.14	医薬品	8.21	医薬品	8.43
	9 医薬品	8.04	医薬品	6.03	繊維製品	7.81	卸売業	6.66
	10 機械	6.85	繊維製品	5.67	電気機器	7.50	輸送用機器	6.28
下位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 ゴム製品	-3.42	ゴム製品	-5.19	小売業	-4.72	海運業	-1.83
	2 電気・ガス業	-2.16	食料品	-4.15	ゴム製品	-4.50	非鉄金属	-0.25
	3 空運業	-1.63	陸運業	-4.02	空運業	-2.28	小売業	-0.18
	4 不動産業	-1.47	電気・ガス業	-2.39	不動産業	-2.11	ガラス・土石製品	0.30
	5 小売業	-1.28	銀行業	-2.10	サービス業	-1.76	電気・ガス業	0.62
	6 陸運業	-1.10	その他金融業	-1.97	非鉄金属	-1.49	その他金融業	0.79
	7 銀行業	-1.00	不動産業	-0.99	保険業	-0.73	倉庫・運輸関連業	1.04
	8 食料品	-0.48	小売業	-0.41	陸運業	-0.46	陸運業	1.20
	9 保険業	0.05	空運業	-0.24	証券・商品先物取引業	0.30	サービス業	1.27
	10 非鉄金属	0.39	保険業	0.05	食料品	0.72	情報・通信業	1.81

(注) 単位は (%)。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

### 3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー

#### 寄与度上位は、キヤノン (7751)

個別銘柄の各指数へのパフォーマンス寄与度をランキングし、その結果に基づき、上位・下位5社を示したのが図表6である。なお、月次リターンは、円建てベースで示した。

Russell/Nomura Prime 指数を構成する銘柄のうち、キヤノン (7751) が +0.190%と最も高い寄与度を示した。同銘柄の月次リターンは前月比+9.42%となった。次いで高い寄与度を示したのは、日本電信電話 (9432) で+0.185%、ソニー (6758)で+0.172%であった。一方、マイナスの寄与度が大きかったのは、先月プラスの寄与度が最上位だった三菱 UFJ フィナンシャルグループ (8306) で-0.430%、月次リターンは前月比-5.77%であった。

図表6 個別銘柄パフォーマンス寄与度上位・下位5社

Prime:3.64%						Top:3.83%								
上位銘柄	順位	寄与度(%) リターン(%)				寄与度(%) リターン(%)								
		1	7751 キヤノン	0.190	9.42	7751 キヤノン	0.355	9.42	2	9432 日本電信電話	0.185	14.29	9432 日本電信電話	0.347
3	6758 ソニー	0.172	10.46	6758 ソニー	0.322	10.46	4	4502 武田薬品工業	0.164	11.29	4502 武田薬品工業	0.308	11.29	
5	8058 三菱商事	0.124	8.98	8058 三菱商事	0.232	8.98	5	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.185	-5.77	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.347	-5.77	
下位銘柄	1	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.185	-5.77	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.347	-5.77	2	8802 三菱地所	-0.064	-5.96	8802 三菱地所	-0.120	-5.96
	2	8802 三菱地所	-0.064	-5.96	8802 三菱地所	-0.120	-5.96	3	9984 ソフトバンク	-0.053	-11.38	9984 ソフトバンク	-0.099	-11.38
	3	9984 ソフトバンク	-0.053	-11.38	9984 ソフトバンク	-0.099	-11.38	4	9503 関西電力	-0.037	-6.06	9503 関西電力	-0.069	-6.06
	4	9503 関西電力	-0.037	-6.06	9503 関西電力	-0.069	-6.06	5	6752 松下電器産業	-0.030	-1.84	6752 松下電器産業	-0.055	-1.84
	5	6752 松下電器産業	-0.030	-1.84	6752 松下電器産業	-0.055	-1.84							

Large-V:2.08%				Large-G:5.22%				Small:3.92%			
上位銘柄	順位	寄与度(%) リターン(%)		寄与度(%) リターン(%)		寄与度(%) リターン(%)					
		1	9432 日本電信電話	0.430	14.29	7751 キヤノン	0.438	9.42	5991 日本発條	0.077	31.33
2	6758 ソニー	0.399	10.46	4502 武田薬品工業	0.380	11.29	2875 東洋水産	0.076	23.10		
3	7267 本田技研工業	0.242	6.97	5401 新日本製鐵	0.256	12.84	7915 日本写真印刷	0.062	26.51		
4	9437 エヌ・ティ・ティ・ドコモ	0.126	9.80	8058 三菱商事	0.212	8.98	3231 野村不動産ホールディングス	0.062	27.73		
5	6501 日立製作所	0.121	8.13	5405 住友金属工業	0.194	15.10	3941 レンゴー	0.061	29.08		
下位銘柄	1	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.430	-5.77	8802 三菱地所	-0.148	-5.96	6703 沖電気工業	-0.053	-18.14	
	2	9503 関西電力	-0.086	-6.06	9984 ソフトバンク	-0.123	-11.38	4314 ダウインテ・アドバイザーズ	-0.046	-20.63	
	3	6752 松下電器産業	-0.069	-1.84	4755 楽天	-0.053	-16.33	6728 アルバック	-0.044	-18.35	
	4	9501 東京電力	-0.066	-2.84	5713 住友金属鉱山	-0.051	-6.45	2202 明治製菓	-0.043	-13.37	
	5	2503 キリンホールディングス	-0.059	-5.68	9831 ヤマダ電機	-0.047	-7.87	5332 TOTO	-0.040	-9.09	

(注) リターンは円建て・配当込みのものである。

寄与度とは前月末インデックス内構成ウエイト×月次リターン(%)で算出される値。

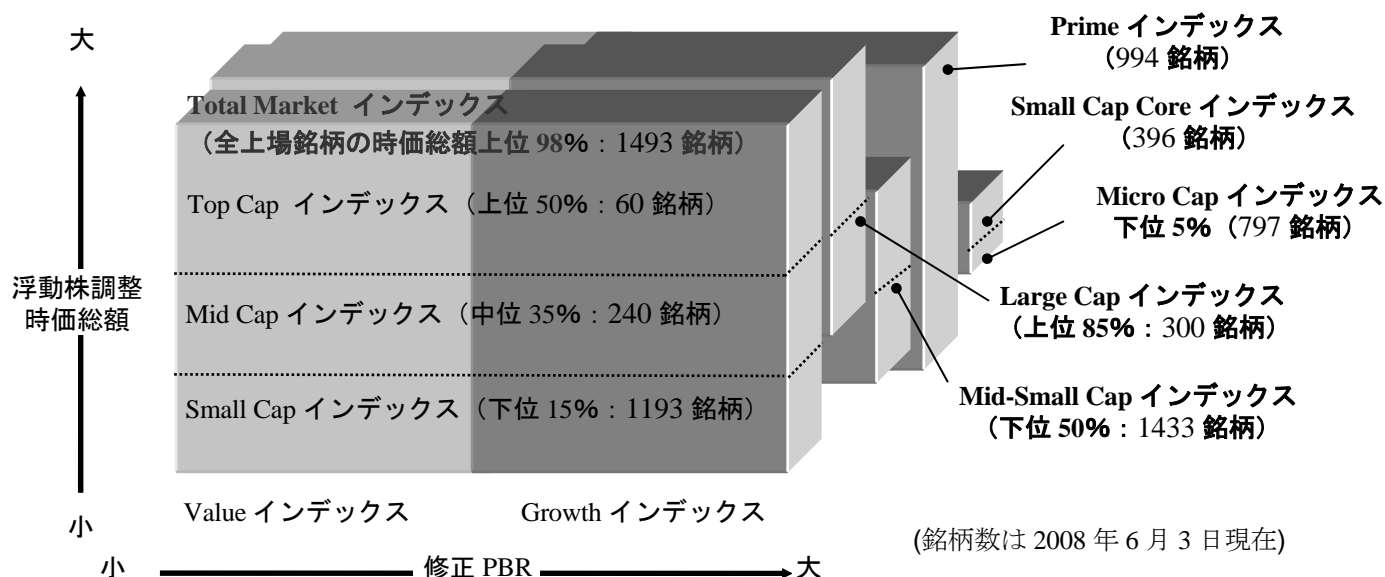
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## Q&A Russell/Nomura 日本株インデックスについて

### Q: Russell/Nomura 日本株インデックスって何ですか？

A: Russell/Nomura 日本株インデックスは米国、フランクラッセルカンパニーと野村証券金融工学研究センターが共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークです。



この他に 33 業種別インデックス (Total Market、規模別、Value、Growth、Prime) も用意されております。なお、規模別インデックスの分類指標は、安定持ち株控除後の時価総額です。Value/Growth インデックスの分類指標は、自己資本の含みを修正した修正 PBR です。

### Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのルールブックはどこにありますか？

A: [http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN\\_rule200707.pdf](http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN_rule200707.pdf)  
をご覧ください。

### Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータを見たいのですが、どこで公表していますか？

A: 以下の情報端末でご覧いただけます。

Bloomberg	: RNJI
時事通信	: SQ21、SQ22、SQ23、SQ24
QUICK	: NRIJ500~504、510~517
REUTERS	: FRCNRI01、FRCNRI02、FRCNRI03、FRCNRI04
INTERNET	: <a href="http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html">http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html</a>

なお、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からは、最新のインデックスリターン、構成銘柄、構成銘柄の変更などがご覧いただけます。

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータが欲しいのですが？

A: インデックスリターン、インデックス個別銘柄時価総額ウェイト、個別銘柄情報については、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からダウンロードできます。QUICK、REUTERS、Bloomberg においても一部に限られますが、データを取得できます。それ以外に関しましては、下記の連絡先にお問い合わせください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスについて英語の資料が欲しいのですが？

A: <http://qr.nomura.co.jp/en/frcnri/index.html> をご覧ください。

上記以外の Russell/Nomura 日本株インデックスに関するお問い合わせ先

徳野 明洋・平野 由美子：idx\_mgr@frc.nomura.co.jp

電 話：03(3274)0924

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

当社で取り扱う商品等へのご投資には、各商品等に所定の手数料等（国内株式取引の場合は約定代金に対して最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は、2,730 円（税込み））の売買手数料、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等）をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

国内株式の売買取引には、約定代金に対し最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は 2,730 円（税込み））の売買手数料をいただきます。国内株式を相対取引（募集等を含む）によりご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。国内株式は株価の変動により損失が生じるおそれがあります。

外国株式の売買取引には、売買金額（現地約定金額に現地手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対し最大 0.9975%（税込み）（売買代金が 75 万円以下の場合は最大 7,455 円（税込み））の国内売買手数料をいただきます。外国の金融商品市場での現地手数料や税金等は国や地域により異なります。外国株式を相対取引（募集等を含む）によりご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。外国株式は株価の変動および為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

信用取引には、売買手数料（約定代金に対し最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は 2,730 円（税込み）））、管理費および権利処理手数料をいただきます。加えて、買付の場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付け株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託保証金は、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の額が必要です。信用取引では、委託保証金の約 3.3 倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託保証金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。詳しくは、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、等をよくお読みください。

野村證券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第 142 号

加入協会／日本証券業協会、（社）投資信託協会、（社）日本証券投資顧問業協会、（社）金融先物取引業協会

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします